

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

戦略的原子力共同研究プログラム

事後評価総合所見

研究課題名：高温ガス炉の安全性向上のための革新的燃料要素に関する研究	
研究代表者（研究機関名）：橘 幸男（日本原子力研究開発機構）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：大平 幸一（原子燃料工業株式会社）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：黒田 雅利（熊本大学）	
研究期間及び研究費：平成26年度～平成28年度（3年計画） 53百万円	
項目	要約
1. 研究の概要	<p>高温ガス炉の特徴的な事故のひとつである空気侵入事故時における耐酸化性能を向上した、革新的な燃料要素の基礎基盤技術の確立を目指し、耐酸化性能に優れるSiCを燃料要素の母材として新たに適用する技術を開発することを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・耐酸化燃料要素の研究
2. 総合評価	<p>A</p> <p>空気侵入事故時の耐酸化性能向上として、SiCオーバーコートによる燃料母材の耐酸化性が示されたことは評価出来る。</p> <p>今後は再処理性の検討等を行い、実用化検討を進めて欲しい。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>